

議 事 録

日 時：平成22年9月10日（金）10：00～13：00		会 場：地盤工学会会議室	
部 長 村 田 芳 信	○	理 事 李 圭 太	○
部 員 清 木 隆 文	○	部 員 原 忠	○
部 員 熊 谷 隆 宏	○	部 員 竹 山 智 英	×
部 員 秦 樹一郎	○	部 員 中 野 正 樹	○
副会長 岸 田 隆 夫	○	事務局 下 山 礼 子	○
		事務局 永 田 満 枝	○

【議 題】

一般事項

《報告・確認事項》

1. 議事録者の指名……(別紙-1)

- ・村田理事兼事業部長(以下、部長)から清木が指名された。

2. 前回議事録の確認：事業部会 (7/8) ……(別紙-2)

- ・前回議事録担当者の熊谷部員から資料に基づいて説明があり、確認された。

3. 平成22年度事業部収支報告 (7月末現在) ……(別紙-3)

- ・下山課長から資料に基づいて、講習会の進捗の説明があった。上半期では収支差が現状では大きい、下半期で動員が期待されると報告された。
- ・書籍は、売上収益の予算案は、7月までで売上収入、33%の達成率が望ましいが、事業部の書籍で24%である。
- ・丸善も昨年に比べると収益が下がっている。基準部を入れても26%であることが説明された。
- ・また、丸善では基準書関連の本が比較的売れていると補足された。
- ・販路拡大のため、自由に意見交換を行った。
 - ・村田部長から各会社に働き掛け、給料天引きの購入体制の検討ができないかと、意見が出された。
 - ・数年前までは、新刊が出版されれば、会社によっては、自動的に購入していたが、最近は厳しくなった。
- ・李理事兼出版企画委員会委員長(以下、委員長)から新刊本を購入して頂ける法人を対象に、出版企画委員会で新刊購入のインセンティブが出るような検討を行うことが提案された。

4. その他

なし

出版企画委員会

《報告・確認事項》

1. 前回議事録の確認 (7/8, 8/18) ……(別紙-4)

- ・李委員長から資料に基づいて、議事録の内容が説明された。

2. 各編集委員会および出版作業進捗状況報告……(別紙-5)

- ・李委員長から資料に基づいて説明された。実務シリーズ「土の締め固め」は、12月中に出版できるように担当者から執筆者に依頼したことが報告された。
- ・熊谷部員(出版企画委員会幹事)が、細野委員NZ 留学中の担当を代理で対応することが説明された。

3. 「セット de お得」の実施……(別紙-6)

- ・セット販売の概要が、李委員長によって説明された。まずは、10月1日開始で、年内3カ月で試行することが説明された。実施中に明確となった問題は、事務局が個別に対応することが下山課長から補足された。

《審議事項》

1. 新刊本出版趣意書および出版計画書の検討

- ・出版趣意書, 出版計画書:次回

2. 書籍販売のトレンド・印刷部数について……(別紙-7)

- ・李委員長から資料に基づいて、書籍を4つの売れ筋 Group に分けたこと、出版している書籍の6割の本は、概ね売れ行きが良いことが確認された。

- ・現在初版を500部に抑えているが、Group3,4は一律初版1500冊でも売れる可能性が示唆された。
- ・初版を抑えて、売り切れた結果、重版のために追加の印刷を行うと経費が嵩むので、このバランスも改めて検討することが補足された。

3. 著作権委譲と引用資料の転載許諾の対応ケース……(別紙-8)

- ・清木が、資料に基づいて、著作物の著作権の学会への委譲、図表の転載許諾と引用の関連を説明した。
- ・事業部規程では、事務局あるいは、事業部会が転載の許諾を行うことになっているので、その経緯を確認し、原則著者に転載許諾の手続きをして頂き、対法人の場合(具体的に相手先などを例示)に事務局が手続きを手伝うことなどを明文化することになった。
- ・転載許諾については、都市の地盤を事例とする。
- ・転載許諾の手順は、運用上が現在の事業部規程を守り、方針を除々に修正することになった。
- ・図表の引用、転載、改変の違いなど定義な曖昧なので、その違いを明文化することになった。
- ・著作物の転載の許諾が得られない場合についての出版企画委員会、事業部会の検討・進捗状況を整理し、正副会長会議で報告することになった。
- ・書籍の電子化、オンデマンド出版の方向性を明確にする。

4. 都市の地盤PRについて……(別紙-9)

- ・関東支部書籍の関東の地盤の広告チラシの一部に、都市の地盤の出版予告を行うことになった。

5. 「山留めの創意・工夫…講習会」について……(別紙-10)

- ・村田部長から資料に基づいて説明がなされた。
- ・本部での講習会をせず、オンデマンドの講習会を地方に配信を行う意見について、委員会から挙がってきた件、通常どおり講習会を実施して頂き、オンデマンド講習会に切り替えて頂けるように対応して頂けるか様子を見ることになった。

6. 持ち込み企画案……(別紙-11)

- ・「地盤工学を築いた人々」
- ・李委員長から、出版企画委員会では、タイトルを「地盤工学のあゆみ」などに変更して、再編集する。一部改変する、網干先生に自費出版して頂き、学会が販路確保に協力する、会長に紹介の帯表紙を書いて頂くなどの意見が出たことなどが説明された。
- ・会長特別記念出版などの対応を検討することになった。
- ・商業誌に掲載済みの原稿を地盤工学会から出版する意味を疑問視する意見が出された。
- ・対応を岸田副会長にお願いすることになった。

7. 新刊本の初版印刷部数と価格について……(別紙-12)

- ・李委員長から説明があり、売れ行きのトレンドを検討して、初版部数を何冊にするか検討するため、本部会では検討を保留した。

8. 既刊本の増刷……(別紙-13)

- ・李委員長から実務シリーズ「地中連壁工法」は見直し結果、売り切れ後絶版することになった。

9. 既刊本の見直し結果……(別紙-14)

- ・書籍の売上トレンドなどから再検討するために保留している。

10. 委員の交代

- ・「出版企画委員会」「地盤工学における性能設計入門」編集委員会の交代
退任 津野究氏(財) 鉄道総合技術研究所→新任 仲山真司氏(同所)
- ・「近接施工」編集委員会 委員の交代
退任 寺島善宏氏(首都高速道路株)→新任 長田光正氏(同所)

11. 関東支部からの出版物について……(別紙-15)

- ・清木から資料に従って説明され、書籍「関東の地盤」への本部枠の ISBN 番号, JAN コードの付与が依頼され、了承された。
- ・各支部から本を出版する際に、より公に書籍を認めて頂き、一般に書籍を流通させる方法の例として、理事会で報告することになった。
- ・支部の書籍を本部で販売する際の 10%の経費が発生することなどは、従来どおりであることが岸田副会長から確認された。
- ・事業部規程支部から書籍を出版する場合、支部に著作権の許諾の責任があることを示すように中野委員から指示があった。

12. 平成 23 年度予算案について……(別紙-16)

- ・李委員長から予算制作中であるので、議事から削除することが指示された。

13. その他

- ・なし

技術普及委員会

《報告・確認事項》

1. 前回議事録の確認 (7/8) ……(別紙-17)

- ・資料に基づいて村田部長から説明された。

2. 平成 22 年度講習会収支報告

<22年8月>

講習会名	会場	収入予算 (円)	会員	非会員	学生	後援	予定	参加者	率
	開催日		収入実績(円) A		支出実績(円) B		実績の収支差(円) C=A-B(見込み)		
やさしい補強土	JGS会館	226,000	33	24	0	0	38	57	150%
	7月2日		390,000		91,752		298,248		
地盤の連続体力学入門	JGS会館	376,000	18	4	5	0	38	27	71%
	7月7日		242,000		208,752		33,248		
三軸圧縮試験実技	東大生産技術研究所	678,000	10	2	0	0	15	12	80%
	8月25～27日		718,000		405,910		312,090		
H22年度8月の合計見込み			収入実績(見込み)			収支差の実績(見込み)			
			4,682,000			2,284,297			

《審議事項》

1. 平成 22 年度技術講習会企画案 ……(別紙-18)

- ・村田部長から理事会への報告を念頭において、フォーマットを統一することが説明された。
- ①「建設・産業副産物の地盤工学的有効利用講習会」講習会
- ②「地盤工学者のための舗装入門 -基礎から応用まで-」講習会
- ③「土を固める原理と応用講習会」講習会
- ④「地盤に関する解析技術(個別要素法、粒子法)」講習会
- ・土木学会と共催する講習会であることが説明された。
- ・「地盤に関する解析技術(個別要素法)講習会」は、講師料をなくして、会費 4000 円(会員価格)を安くするように設定する。また、土木学会と共催する初の試みであることを会告に記載することなどが説明された。
- ・収益があがった場合、土木学会からの共催金 4 万円分は、差し引いて、その残りから講師料を出すよう検討することが指示された。

⑤「治水利水施設の自然災害に対する減災と対策」講習会

- ・参加費をもう少し安くすると国の機関などから参加しやすいので、扱いについて継続審議することになった。
- ・講習会としては、テキスト別売りのため高い、講演会にしてはどうかとの意見も出た。

⑥「はじめて学ぶ土壌・地下水汚染」講習会

- ・テキストが出版予定であることを削除することになった。

その他・

- ・地盤の動的解析に関する講習会は、オンデマンドに関しては事前に聞いていないということで了解されなかった。
- ・書籍を執筆して頂く際、講習会を原則開催し、書籍の販売に協力して頂くことを明文化し、出版企画の際に、周知することが確認された。

2. 講習会アンケート報告……(別紙-19)

①「やさしい補強土」講習会

②「地盤の連続体力学入門」講習会

- ・村田部長から資料に基づいて説明され、アンケートに概ね良い回答が得られていることが報告された。

3. オンデマンド講習会について……(別紙-20)

- ・原部員から、オンデマンド講習会を実施するための内規案が、資料に基づいて説明され、承認された。

その他

- ・中野部員がデータベース改善WGに事業部会から出席することになった。

販売促進・企画WG

《報告・承認事項》《審議事項》:

- ・なし。

事業部

審議事項

1. 平成21年度事業企画賞について……(別紙-21)

- ・下山係長から平成22年度の事業企画賞の募集について、昨年度のフォーマットに準じて、各部局に配信することが説明された。審査委員は、昨年度各部局、支部などに推薦をお願いすることになった。

その他

1. 次回以降事業部会開催日について

次回 12/11(土) 10:00~12:00 場所:未定

理事会承認事項 (7/23)

- ・出版計画書:「一新指針に対応した第11版一土と基礎の設計計算演習」
- ・出版趣意書:「地盤改良の調査・設計から施工まで」
- ・2010年度販売促進活動計画案:セットdeお得
- ・ショッピングカートの改修について